

検討の観点と内容の特色

観点	観点の内容	『新編 新しい社会 地理』の特色	該当箇所
内容の程度・分量	指導計画作成上の配慮	<ul style="list-style-type: none"> ● 本文は見開き2ページで1単位時間を原則にしています。 ● 目次、索引、巻末資料などを除いたページ数は272ページで、標準授業時数115単位時間のうち、5単位時間の予備時間を設け、柔軟な指導計画の作成が可能で。 ● 授業時数は、地理学習の導入に1単位時間、第1編1章に7単位時間、2章に6時間、第2編1章に11単位時間、2章に29単位時間、第3編1章に5単位時間、2章に12単位時間、3章に35単位時間、4章に5単位時間を配当し、また、それぞれに単元の導入の活動とまとめの活動の時間を充当しており、適切な配当といえます。 	全体
	適正な内容・分量	<ul style="list-style-type: none"> ● 内容の程度、範囲は学習指導要領に示された内容を基に構成しており、文章も敬体（ですます体）を用い、平易で具体的な表現で分かりやすく記述しました。 ● ふりがなは、教育漢字外の漢字に、見開き2ページごとに付すことを原則に、固有名詞などの必要な箇所にも適宜付しています。また、本文だけでなく、資料ごとに付すことで、ほかの箇所で見方を確認する必要がないようにしました。 	全体
教育基本法・学習指導要領への対応	基礎的・基本的な知識・概念や技能を習得する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 見開き1単位時間の紙面を、「興味・関心を引き出す『導入資料』→1時間を貫く問いである『学習課題』→丁寧に分かりやすい『本文』→1時間の学習課題を解決する『チェック&トライ』」の流れで構造化し、学習内容を確実に定着できるようにしました。 	p.112-113 など
		<ul style="list-style-type: none"> ● 本文中の難しい用語を解説する「もっと解説」を本文ページの随所に配置し、単元のまとめには用語の確認をする「ワードチェック」を設け、確実な理解を促すようにしました。また、QRコンテンツでは、社会科で学習する重要用語が確認できる「社会科用語マスター」を用意しています。 	p.95、107 など
		<ul style="list-style-type: none"> ● 写真・雨温図・統計地図・グラフといった資料の読み取りや、地域の調査や分析の手法などの地理学習の基礎的な技能を系統的に習得する「スキル・アップ」とともに、身に付けた技能を活用するコーナーを設け、確実に定着できるようにしました。 	p.34、50、53、168、279 など
	「地理的な見方・考え方」を働かせるなどして、思考力・判断力・表現力を育む。	<ul style="list-style-type: none"> ● 巻頭に「地理を学ぶ5つのミカタ」を設けて地理学習に重要な視点の例を丁寧に示したほか、単元の冒頭に「地理のミカタ」を設け、全編を通して「地理的な見方・考え方」を意識して学習できるようにしました。 	p.6
		<ul style="list-style-type: none"> ● 1単位時間の学習内容をまとめる「チェック&トライ」を設け、着実に思考力・判断力・表現力を高められるようにしました。 	p.10-11 など
		<ul style="list-style-type: none"> ● 各章の終結部には「ベン図」「ウェビング」といった、多様な思考ツールを活用して学習内容を考察する「まとめの活動」を設け、思考を整理し、学びを深められるようにしました。 	p.33、127、267 など
我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域の特徴を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 世界の諸地域学習の導入では、共通する6つの視点で州を概観するコーナー「世界の窓」を、日本の諸地域学習の導入では「〇〇の視点で見てみよう」をそれぞれ設け、「地理的な見方・考え方」を働かせながら、地域の特徴を概観し、探究的に地誌学習に取り組めるよう工夫しました。 	p.61、79、93、105、119、131、187、199 など	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 世界や日本の諸地域学習の各州や各地方の導入に、現地に暮らす中学生が生活の様子や地域の特徴などを紹介するコラム「聞かせて!中学生」を設け、地域による違いや生活の工夫などに関心を高め、異文化理解や国土理解を深めるようにしました。 	p.60、78、92、104、184、196、208、220 など	
我が国の領域を正しく理解できるように配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 我が国がかかえる領土をめぐる問題の現状やその地理的背景について本文やコラムで扱い、我が国の領域について正しく理解し、解決に向けての意識が高められるようにしました。 	p.26-29	
公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「インタビューコラム」を随所に設け、実際に社会に参画している人々の生き生きとした姿から、自らの生き方やキャリア形成について考えられるようにし、生徒の勤労観を養えるようにしました。 ● 第3編第4章では、「持続可能な地域の在り方」について、具体的な調査活動や提案活動を取り上げ、社会参画に向けた主体的な態度を養えるようにしました。 	p.99、189、217、227、241、251、263、269-279	
構成・配列	教材の配列は学習しやすいか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「学習に興味・関心を持たせる『導入部』→学習を進める『展開部』→学習をまとめる『終結部』」の形で構造化し、学習の流れを捉えやすくしました。 	(第3編第2章の例) 導入部：p.156-157 →展開部：p.158-179 →終結部：p.180-181
		<ul style="list-style-type: none"> ● 基礎的・基本的な地理的技能的な習得を図る「スキル・アップ」は、生徒の発達段階をふまえて系統的に配置し、技能を段階的に高められるようにしました。 	p.15、17、18、19、20、25、32、34、37、53、56、57、145、146、148、149 など

観点	観点の内容	『新編 新しい社会 地理』の特色	該当箇所
構成・配列	導入やまとめ、問題提起の教材、学習の整理のための配慮は十分か。	<ul style="list-style-type: none"> ● ①単元全体を貫く「探究課題」を立てる「導入（の活動）」→②1 単位時間ごとの「学習課題」を解決しながら進める「問いの追究」→③「探究課題」を解決する「まとめの活動」の形で問いを軸にして単元を構造化し、課題解決的な学習を進めやすくしました。また、「探究課題」をスムーズに解決するためのふり返りのコーナーである「探究のステップ」を設けました。 	(第2編第1章の例) ①導入の活動：p.34-35 →②問いの追究：p.36-53 →③まとめの活動：p.54-55
		<ul style="list-style-type: none"> ● 調査単元以外では、単元の学習の最後に「確かめよう」を設け、地図などを使って学習内容を整理することで、基礎・基本の定着を図れるようにしました。 	p.54、74、88、100、114、126、138、180、194、206、218、230、242、254、266
		<ul style="list-style-type: none"> ● 各見開きの最初に、生徒の興味・関心を引き出す「導入資料」を掲載し、えんぴつマークの活動コーナーを設けることで、学習にスムーズに入れるようにしました。 	p.12-13 など多数
	写真・図表その他の資料が適切に用意され、学習効果を高めているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 本文を補完する学習効果の高い資料を大きく掲載し、資料に付した「図番号」を本文にも付すことで、効果的に学習できるようにしました。 ● 学習効果を高めるイラストなどを豊富に掲載し、生徒が興味・関心を持って学習を進められるようにしました。 	全体
		<ul style="list-style-type: none"> ● 各単元の導入部に、小学校社会科で学習した内容を用語や写真でふり返るページを設けるとともに、QR コンテンツでは既習事項をふり返るなど、単元の学習をイメージしやすい動画を用意し、小・中の学習を円滑に接続できるようにしました。 	p.8 など
	小学校や高等学校との接続・系統性があるか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「スキル・アップ」でGIS（地理情報システム）を取り上げ、高等学校の必修科目「地理総合」につながる学習ができるようにしました。 	p.154
		<ul style="list-style-type: none"> ● 3年間の社会科学学習を貫く5つのテーマ（「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」）について、3分野共通の題材や、分野をまたがる共通の資料を扱い、分野関連を示すリンクマークを付すことで、多面的・多角的な学習ができます。 	p.58-59 など
	他分野との関連に配慮しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 国語、書写、数学など他教科でも扱う学習内容には、教科関連を示すリンクマークを付し、教科を横断した学習の確認ができます。 	p.25、153、162、164、165 など
	学習効果を高めるQRコンテンツが用意されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 導入→展開→まとめという単元の学習の流れの中で活用できるよう、日々の授業や家庭学習で使えるコンテンツを用意しました。 	全体
		<ul style="list-style-type: none"> ● 導入のページでは、小学校の学習をふり返るクリップなど、単元の学習をイメージしやすいコンテンツを用意しました。 	p.35、62、156、184 など
<ul style="list-style-type: none"> ● 展開のページでは、学習内容の理解を深める動画や、活動のためのワークシート、生徒のつまづきを補うシミュレーションなどのコンテンツを用意しています。また、コンテンツを活用しながら学習を進められるよう、二次元コードを学習課題の隣に置きました。 		p.37、45、46、227 など	
<ul style="list-style-type: none"> ● まとめページでは、思考の整理に役立つ思考ツールや学習した内容を確認するクイズなどを用意しました。 		p.33、54、126-127、266-267 ページなど	
今日的な課題への対応	持続可能な開発目標（SDGs）	<ul style="list-style-type: none"> ● 教科書全体を「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の5つのテーマで貫き、現代的な諸課題を意識しながら学習を進められるようにしました。 	巻頭3-p.1、58-59、141、142-143 など
		<ul style="list-style-type: none"> ● 持続可能な社会の形成について、第2編2章『SDGsから「地球的課題」を考えよう』、第3編4章「持続可能な地域の在り方」などで取り上げ、現代的な諸課題を理解し、課題を解決しようとする態度を養えるようにしました。 	p.58-59、75、89、101、142-143、269-279 など
	環境・エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ● 世界の様々な環境問題や、再生可能エネルギーも含めた発電方法の特徴と課題を取り上げた「もっと知りたい!」と「未来にアクセス」を設け、地球的課題である環境問題や日本が抱えるエネルギー問題への意識を高め、課題への理解を促すようにしました。 	p.65、70-71、84-85、125、172-173、182 など
	人権・平和	<ul style="list-style-type: none"> ● 世界の様々な宗教や文化を取り上げています。ムスリムの暮らしを丁寧に取り上げた「もっと知りたい!」では、イスラームの地域による多様性などにも触れることで、偏見に陥ることなく宗教への理解を深めるとともに、人権や国際平和への意識を高められるようにしました。 	p.52-53、77、137 など
		<ul style="list-style-type: none"> ● 多国籍の人々が暮らす町の取り組みを取り上げた「未来にアクセス」を設け、多文化共生に向けた視点を身に付け、将来の共生社会を考える意識を高められるようにしました。 	p.243
	伝統・文化	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域的特色を背景とした各地の伝統産業や伝統文化、歴史的町並みなどを本文やコラム「もっと知りたい!」などで豊富に取り上げ、それらが形成された歴史的背景や現代の生活に対応した革新の努力にも触れることで、国土や郷土への理解や愛情を深められるようにしました。 	p.216-217、219、229、250-251 など
防災・安全	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本で見られる地震や火山、気象による様々な自然災害を地理的要因とともに取り上げ、開発と自然環境との関係を考察しながら災害に向き合えるようにしました。また、高等学校「地理総合」での防災の学習に円滑に接続できるようにしました。 	p.164-169、185、188-189 など	

観点	観点の内容	『新編 新しい社会 地理』の特色	該当箇所
今日的な課題への対応	情報・技術	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報通信技術（ICT）の進展による社会の変化や課題解決の取り組みの事例を本文や「未来にアクセス」などで取り上げ、地球的課題の解決や地理的な制約の克服に最先端の情報・技術が活用されていることへの理解を深められるようにしました。 	p.71、73、111、177、204-205 など
	先生がたの働き方改革への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ● 1 見開きあたり 1 単位時間を基本とし、時間配当や年間指導計画を把握しやすい構成にしています。 	全体
		<ul style="list-style-type: none"> ● 単元における「導入の活動」と「まとめの活動」に一体感をもたせるとともに、配当時間を設け、単元構想が立てやすくなるようにしました。 	p.8-9、20-21、32-33、34-35 など
		<ul style="list-style-type: none"> ● 紙面上で、活動場面に「見方・考え方」を働かせる視点の例を分かりやすく提示しました。 	p.14、43、73、84 など
	インクルーシブ教育を目指して	<ul style="list-style-type: none"> ● 特別支援教育の観点から、立体感や陰影のある表現を省いた「フラットデザイン」を採用し、学習者が学習に必要な情報に集中できるようにしました。 ● 資料の掲載部分を、文字などの読み取りに支障のない地色を敷いて区別することで、紙面の構造を明確化し、特別支援教育の観点での学習のしやすさを向上させています。 ● 教科書全体を通してユニバーサルデザインフォント（UD フォント）を使用し、文字の視認性を高め、読み取りやすさを向上させています。 ● 色覚特性がある生徒にも見分けやすい色を使用するとともに、グラフや地図などでは、凡例を使用せずに図中に直接示すようにしたり、読み取りづらい破線や点線を極力減らしたりしました。 ● 小さな文字が読み取りにくい生徒に配慮し、読み取りやすいゴシック体のふりがなを採用し、視認性を確保しながら黒色を抑えることで、紙面の雑然とした印象を軽減し、読み取りやすさを向上させています。 ● 別途発行予定の学習者用デジタル教科書では、文字の大きさ変更（リフロー表示）、本文の読み上げ（機械音声）、文字色・背景色・行間の変更や、ふりがな表示、分かち書き表示に対応し、全ての子どもたちの学習を支えます。 	全体
令和の日本型学校教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 紙面に付した二次元コードを機器で読み取ることで、内容の理解につながる動画やシミュレーションなど、豊富なコンテンツを利用することができるため、学校でも家庭でも学習者個人に合わせて学習を調整することができます。 ● 学習者用デジタル教科書では、画面に表示される紙面上の二次元コードをクリックするだけの操作で、簡単に QR コンテンツにアクセスすることができます。 	全体	
印刷・造本	表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ● 視覚的効果が高い幅広の判型（AB 判）を用い、資料を豊富に掲載するとともに、写真や文字の鮮明さに留意し、見やすく印象的な紙面構成になっています。 	全体
	製本・印刷	<ul style="list-style-type: none"> ● 印刷用のインキは、環境に配慮した植物油インキを使用しています。 ● 強力な接着剤を用いた製本は堅牢で、長期間の使用にも十分耐えられます。 	全体
	用紙・紙質	<ul style="list-style-type: none"> ● 様々な教科の教科書を持ち歩く生徒の負担に配慮して、過度な重量にならないように、ページ数を抑え、軽くて裏写りせず、強度の高い紙を使用しました。 ● 用紙には、強度と発色性とを兼ね備えた質の高い再生紙を使用して環境に配慮するとともに、文字や図表、写真などの資料が読みやすく、色映えるように工夫しています。 	全体